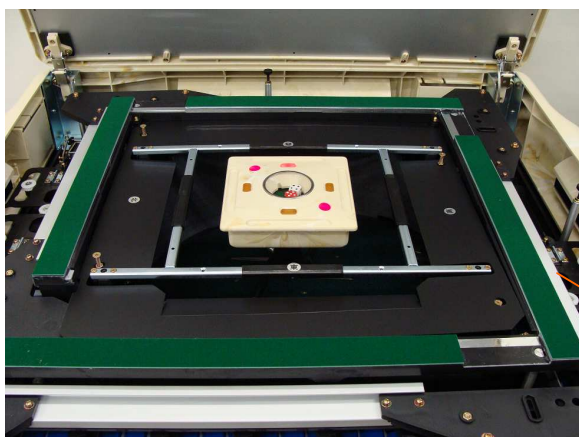
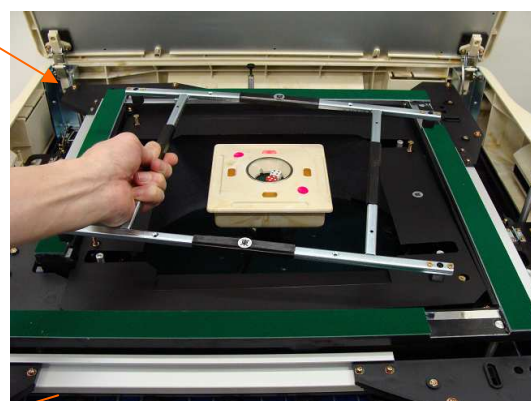
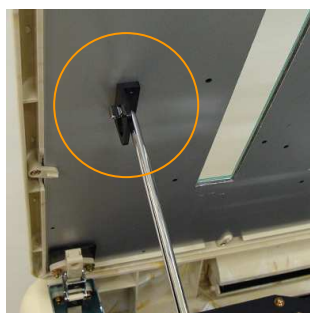


## 機械内部掃除

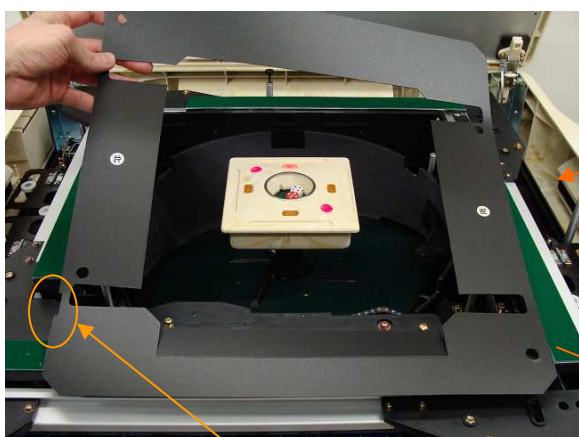
タオル又は布切れを2枚用意します。1枚は乾燥した状態。もう1枚は水に濡らしよく絞った状態のもの。



機械の天板を上を持ち上げステーで天板を固定しておきます。



内部のユニットを上を持ち上げてとります。取り付けのときは、向きに気を付けて下さい。東が正面側です。



カバーをはずします。取り付けのときは、向きに気を付けて下さい。



内部の外側の部分をまず、濡らしたタオルなどでふいてから、乾いたタオルなどでよくふきます。



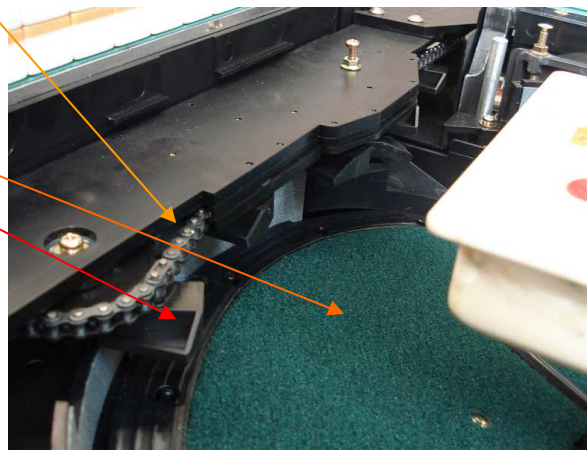
② 走行チェーンについている磁石を丁寧に拭き掃除しましょう。

\* 機械内部で汚れによりセットがうまくされない場合に掃除が必要となります。

使用頻度にもよりますが、基本的に頻繁に行う必要はありません。

ターンテーブルを時計回しに回すと、走行チェーンが動きますので、

1個ずつ丁寧に磁石を拭きましょう。



\* 参考資料のため、本体はプレジャーの写真を利用しています。

**注意事項：**掃除の際には油類や洗剤などは使用しないで下さい。

基本的には純粹に水拭きと乾拭きをしましょう。

機械内部に水滴などが残っていると故障の原因となりますので注意して下さい。

よく乾拭きを心がけましょう。